

路地百選推薦書

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	松江京町商店街
所在地	島根県松江市末次本町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

松江大橋の北側、京橋川に挟まれた古くから栄えた商店街。街路樹と落ち着いた道路舗装は、大人の街を感じさせてくれる。京店通りと京橋川をつなぐ紺屋小路には、6階建てのビルの側壁に町屋の記憶が刻印されている。商店街中央にはカラコロ大黒が鎮座し、脇の通路をぬけると京橋川に開けたカラコロ広場に出る。その京橋川畔には、堀川めぐりの乗船場がある。

京橋川を挟んだ北側、旧日本銀行松江支店を修復したカラコロ工房は、製販一体型の工房は、創る・見る・味わうを一堂に集めた体験型の工芸館である。

【写真添付】



街灯には小泉八雲が



カラコロ比ラバ沿いの堀川めぐり乗船場



京店通り
商店街

カラコロ
広場



各家の由来を表示

美保神社裏の路地

路地	文豪の歌碑も	約 100m 路地の延長	仏谷寺への路地	約 100m 美保神社か！
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	<p>美保館 五代松江藩主「島津重豪」に公家の息女「岩姫」が降嫁された際、京の都を懐かしみ京風の町並みを作ったのが「京店」の始まり。小泉八雲は明治 23 年の来松時、初めての宿が松江大橋湖畔の富田旅館だった事。当時木橋であった「大橋」を渡る下駄の「カラコロ」と響く音に八雲は深く心をひかれたという。八雲が松江在住の大半を京店の織原別邸に住み、「知られざる日本の面影」など多くの作品を著わした。</p>		